

奈良県の環境の現況について

(平成30年度、自動車騒音)

- ・騒音規制法第18条の規定に基づき、自動車騒音の状況を把握するため、県下の主要幹線道路(高速自動車道、一般国道等:1日の交通量概ね1万台以上)を75区間に分割し、平成13年度から平成17年度まで15区間ずつ自動車騒音レベルを調査した。
 - ・平成12年5月に示された自動車騒音常時監視の処理基準が平成17年6月に改正され、新しい処理基準に基づいた平成18年度の常時監視に係る実施計画が環境省から求められ、平成17年度において1か年で3区間、5か年でおおよそ15区間について調査する計画を立案した。区間の選定については、前の5か年で調査した75区間の中から、①区間対象市町村が奈良市のみの区間、②評価対象戸数の環境基準達成率が100%であった区間、③測定地点での騒音レベルが要請限度以内であった区間、④評価対象戸数が少ない、若しくは評価区間延長が短い区間を除外した。
 - ・平成24年度より自動車騒音常時監視の事務処理基準が改正され、市へ当該事務が権限移譲されることに伴い、平成23年度より改正後の新しい処理基準を見据え、1か年で3区間ずつ10か年に亘って、合計30区間について実施する計画を立案した。区間の選定については、町村域の道路のうち特に交通量の多い区間を優先した。
 - ・自動車騒音の常時監視では、騒音に係る環境基準の達成状況を把握するため、騒音測定に加えて、県下の主要道路沿道の建物条件調査等を実施し、環境基準に定められた面的評価を実施するものとされている。(環境に係る環境基準の評価マニュアル(環境省))
- ・平成30年度は、3調査区間(別表1) 553 戸について面的評価を行った。その結果(別表2・3)、昼間・夜間ともに環境基準を達したのは 553 戸(100%)であった。

別表1 評価区間

番号	区 間 名	測 定 地 点
1	桜井田原本王寺線(田原本町味間～田原本町千代)	田原本町味間
2	一般国道169号線(高取町観音寺～大淀町土田)	高取町清水
3	河合大和高田線(広陵町平尾～広陵町大塚)	広陵町大塚

別表2 道路に面する地域における環境基準の達成状況

面的評価対象 住居等総戸数	昼夜とも 環境基準以下	昼のみ 環境基準以下	夜のみ 環境基準以下	昼夜とも 環境基準超過
553 戸	553 戸(100%)	0 戸(0%)	0 戸(0%)	0 戸(0%)

別表3 地域類型別道路に面する地域における環境基準の達成状況

地域の類型	評価戸数	昼夜とも 環境基準以下	昼のみ 環境基準以下	夜のみ 環境基準以下	昼間・夜間 環境基準超過
幹線交通を担う道路に近 接する空間	217 戸	217 戸 (100%)	0 戸 (0%)	0 戸 (0%)	0 戸 (0%)
A類型のうち2車線以上の車線を有 する道路に面する地域	28 戸	28 戸 (100%)	0 戸 (0%)	0 戸 (0%)	0 戸 (0%)
B・C類型のうち2車線以上の車線 を有する道路に面する地域	308 戸	308 戸 (100%)	0 戸 (0%)	0 戸 (0%)	0 戸 (0%)
全 地 域	553 戸	553 戸 (100%)	0 戸 (0%)	0 戸 (0%)	0 戸 (0%)

* 道路に面する地域において、環境基準の地域の類型が当てはめられていない場合、当該地域の類型は、B が当てはめられているとみなし評価した。